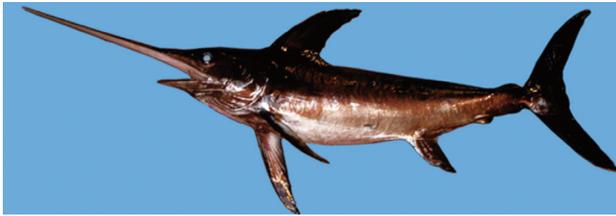


# メカジキ 南大西洋

Swordfish, *Xiphias gladius*



**管理・関係機関**

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

**最近一年間の動き**

2012 年度は南大西洋のメカジキの資源評価は行われていない。最新の資源評価は大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT) メカジキ資源評価会議で 2009 年に実施され、本系群は乱獲状態にはないことが示された。2012 年の科学委員会は、データ不足による不確実性を低減する十分な調査研究が実施されるまでは、本資源の年間漁獲量を前回推定された MSY (15,000 トン) 以下に抑え、小型個体の漁獲量制限を継続するよう勧告を出した。2013 年に南大西洋のメカジキの資源評価が行われる予定である。

- 生物学的特性**
- 寿命：調査中
  - 成熟開始年齢：調査中
  - 産卵場：熱帯～亜熱帯
  - 索餌場：アフリカ沿岸・ウルグアイ沖合水域
  - 食性：調査中
  - 捕食者：調査中

**利用・用途**

刺身、寿司、切り身 (ステーキ)、煮付け

**漁業の特徴**

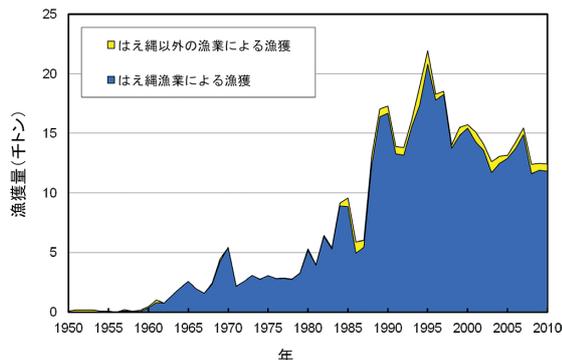
1980 年代末まで主に日本・台湾・韓国のはえ縄の混獲として漁獲されており、総漁獲重量は 1 万トン未満と少なかった。1989 年から本種を目的にはえ縄の浅縄操業を行うスペインの船団が参入し、総漁獲量は 1995 年には 21,930 トンへと急増した。その後、漁獲量は減少し 2011 年には 12,763 トンとなった。

**漁業資源の動向**

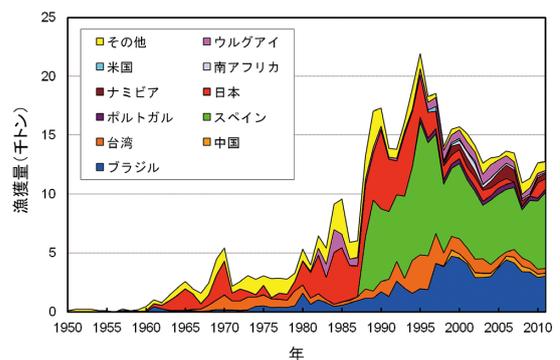
1995 年以降は、規制の導入、努力量の他の大洋への移動及び主対象魚種の変更により漁獲量は減少している。1995 年以降、日本のはえ縄漁船の主漁場は北大西洋に移り、努力量の減少で漁獲量も大幅に減少し 2005 年は 480 トンと過去最低を記録した。2006 年には 1,090 トン、2007 年には 2,155 トンと増加したが、その後減少している。

**資源状態**

資源評価は ICCAT の SCRS (科学委員会) で、加盟国の研究者が共同で実施する。本資源を混獲する漁業 (日本・台湾) と主対象とする漁業 (スペイン・ブラジル) で、1990 年代中甸より CPUE のトレンドが大きく異なった。どちらが資源状態を正しく反映しているかについて判断する十分な資料がないことから、各国の標準化した CPUE をそれぞれインプットデータとしたものをベースケースとして非平衡プロダクションモデル (ASPIC) で解析したところ、資源状態は良好で、近年の  $F$  は  $F_{MSY}$  よりも低く、資源量は  $B_{MSY}$  よりも上にある可能性が高いという暫定的な結果が得られた。ASPIC に使用するデータの不確実性を考慮して、漁獲量の情報のみを用いる Catch only model による解析を行った結果、 $F_{2008}/F_{MSY} < 1$  となる確率は 77%、 $B_{2009}/B_{MSY} > 1$  となる確率は 82% となった。この推定値は非平衡プロダクションモデルの結果を支持しており、本資源は乱獲状態にはないとされた。将来予測を実施した結果、漁獲量を 15,000 トンにした場合 80% の確率で  $B > B_{MSY}$  となり、17,000 トンにした場合は 67% の確率で  $B > B_{MSY}$  となることが示された。



漁法別漁獲量の年推移 (1950 ~ 2011 年) (ICCAT 2012)



国別漁獲量の年推移 (1950 ~ 2011 年) (ICCAT 2012)

### 管理方針

資源評価に使用したデータは、不明な点が多く、それを明らかにできる十分な調査・研究が行われない限り、漁獲量は現状の漁獲量レベルが維持できると期待されるMSY（約 15,000 トン）を超えるべきではないと勧告された。

### 資源評価まとめ

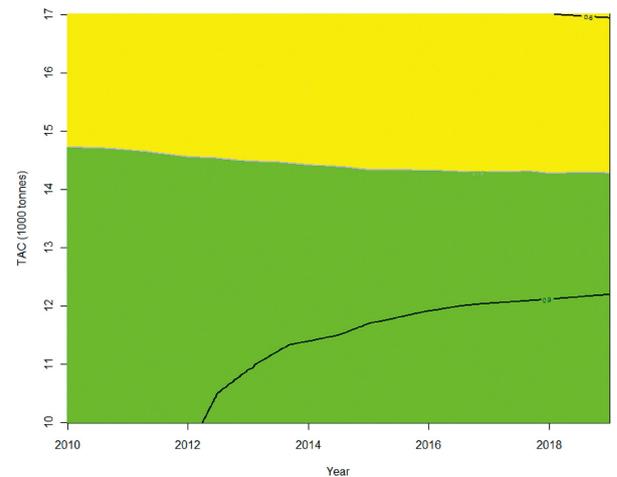
- 資源評価は ICCAT の SCRS で実施
- ASPIC により資源評価した結果、信頼性は低いものの MSY は 15,000 トン程度と推定された
- 資源水準はおそらく中位漸増

### 資源管理方針まとめ

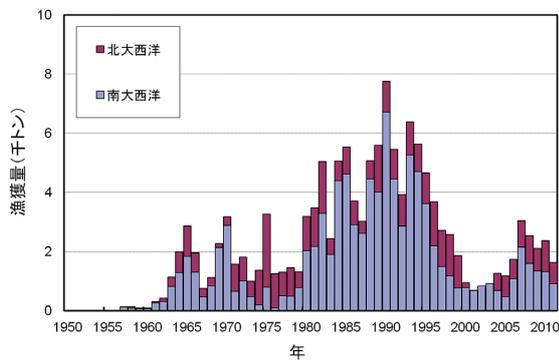
- 資源水準を MSY レベル以上に維持する
- TAC を推定された MSY の約 15,000 トン以下に抑える
- 小型個体（下顎又長 125 cm / 体重 25 kg 未満）の水揚量を 15% 以下に抑えるか、下顎又長 119 cm / 体重 15 kg 未満の個体の水揚量を 0% にする（投棄量の評価含む）

### メカジキ (南大西洋) の資源の現況 (要約表)

資源水準	中 位
資源動向	増 加
世界の漁獲量 (最近 5 年間) (2007 ~ 2011 年)	12,546 ~ 15,630 トン 平均: 13,255 トン
我が国の漁獲量 (最近 5 年間) (2007 ~ 2011 年)	912 ~ 2,155 トン 平均: 1,464 トン



Catch only モデル解析におけるバイオマスの将来予測。漁獲量を固定した場合 (y 軸) に  $B > B_{MSY}$ 、 $F < F_{MSY}$  となる確率を各年について示すコンター図。コンターは上から 50%、75%、90% の確率を意味する。(ICCAT 2012)



日本の大西洋でのメカジキ漁獲量 (1950 ~ 2011 年) (ICCAT 2012)



プロダクションモデルのベースケースについて推定された相対的資源量 ( $B/B_{MSY}$ : 赤線) 及び相対的漁獲死亡率 ( $F/F_{MSY}$ : 青線) (ICCAT 2009)